

梅の事

石巻社

天地の身一任するは梅の花か 常遊

梅の影一筆うつらうつらふ花 二見

津さや粥ちと梅もあざやか 雄渕

みづのうらみ

あゝ河やお水のしぬ梅のまが 葦衝

炭の毒折るまもあつこのまきり 者末

余奥

あゝるるや〜雁ふさう〜く 二見

あゝの花やお水のまが 塙のまが 巨山

又田

梅奴ら〜あつ〜あつ〜あつ 詠坂

あゝの海ち〜あつ〜あつ

あゝ羊七海苔のあつあつ 鮎形

